

こんにちは。トリプルアイズの白石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

まだまだ暑い日が続きますが、あっという間に9月目前ですね。

今週は「IDを制すものがビジネスを制す」「運動は好きですか？ フィットネスエキスポ開催！」「AIエンジニアの仕事1問1答」など盛りだくさんの内容でお届けします。ぜひ最後までご覧ください！

-----<目次>-----

1. IDを制すものがビジネスを制す～ビッグデータよりも重要な「アイデンティティ・マネジメント」について理解を深める
2. トリプルニュース
3. 【プチ連載】 AIエンジニアの仕事1問1答
4. IT批評
5. 編集後記

-
1. IDを制すものがビジネスを制す～ビッグデータよりも重要な「アイデンティティ・マネジメント」について理解を深める



GAF A に代表されるインターネット企業が隆盛を迎えた 2010 年代、次のビジネスの資源として注目を浴びたのは**ビッグデータ**でした。膨大なアカウント数とそれにとまう巨大なデータによって IT サービスの利便性が向上し、市場支配の原動力になると目されたからです。

当然、日本の IT サービスもこぞってビッグデータ獲得に躍起になりました。ところが、GAF A との差は広がるばかり。その決定的な違いはなにか？ ヒントとなるのが「**アイデンティティ・マネジメント**」です。彼我の差は、アイデンティティ・マネジメントに対する思想的ともいえる認識の違いにありました。

昨今、「**ID を制すものがビジネスを制す**」とも言われています。サイバービジネスの核心であるアイデンティティ・マネジメントについて、クロサカ タツヤ氏が最新の IT 批評に記事を掲載しています。今回はそこから一部抜粋してお届けいたします。

「アイデンティティ・マネジメントは、今日において、もはや私たちの社会基盤であり、生命を委ねるものです。しかしその重要性に、日本のビジネスパーソンのほとんどが気付いていません。

ID への本質的な理解が進んでいないからこそ、日本は“デジタル敗戦”をしてしまったと私は考えています。マイナンバーカードが 10 万円給付の際に使い物にならなかったことや日本から GAF A のような企業が生まれないことの原因のひとつが、ID への理解不足と言っても過言ではありません。」

「ご存知のとおり Google も Amazon も、グローバルユニークな ID を全世界のすべての人に提供しています。グローバルユニークとはどういうことかということ、どんな国や地域に住んでいようと、Google や Amazon のサービスを使いたいと思えば、世界中でその人だけのたった一つの ID を割り当てられて、その人と Google なり Amazon が 1 対 1 で紐づけられている状態が、何十億人分もあるということです。

GAF A が持っている最大の資産が、こうした ID なのです。決してビッグデータのみが資産なのではありません。想像するだけで非常に煩雑で困難な業務を長年にわたって積み重ねてきた結果として、彼らはグローバルカンパニーとして存在しています。だからこそ、アイデンティティ・マネジメントが彼らの競争力の源泉であることは間違いありません。」

アイデンティティ・マネジメントとは何か？ その重要性について知りたい方は、この続きを IT 批評でお読みください。

<https://it-hihyou.com/>

2. トリプルニュース

展示会に出展します！ フィットネスジムに最適な AI のスモールスタート



みなさん、運動は好きですか？ コロナ禍で宅トレを始めた、なんていう方も多いのではないのでしょうか？

今週末8月28日（土）から8月29日（日）にベルサール渋谷ガーデンで開催される「FITNESS WORLD EXPO 2021 Vol.02」に画像認識プラットフォーム・AIZE（アイズ）を出展いたします。

FITNESS WORLD EXPO は、フィットネス、健康食品、ヘルスケア、美容機器など健康に特化した分野における最新のサービスや製品、技術を紹介する総合フィットネスエキスポです。展示会と同時に**ボディビルコンテスト**が開催されるので、筋肉好きの方は必見のイベントですよ。

公式ホームページ：<https://fitnessworldexpo.com/#exhibit>

* ご入場には入場チケットが必要です。同時にオンラインライブが開催されます。

すでに大手フィットネスジムにもご導入いただいている AIZE Biz+を展示・紹介させていただきます。土日ですので、フィットネスに興味のある方、プライベートでもお待ちしております！

3.【プチ連載】 AI エンジニアの仕事1問1答

以前にメルマガでご紹介したとおり、トリプルアイズは**AI エンジニア育成のための通信教育プログラム「AT20」**をスタートさせました。では、AI エンジニアとはいったいどんな仕事をしているのでしょうか？ 今号から弊社の AI エンジニアに業務内容を語ってもらう企画をスタートいたします。

第1回 入社4年目、機械学習エンジニアIさん

AIZE 開発部に所属する若手エンジニアIさんに話を伺いました。新卒で入社して現在4年目。大学時代は研究室で人工知能を学んでいたそうです。

Q 現在の仕事は？

A 顔認証 AI である AIZE のプログラム開発に携わっています。ディープラーニングの学習モデルを作成し、実際のサービスに実装するところまでを手掛けています。サービスとして実装した後に改善のフィードバックがあれば、プログラムをバージョンアップするのも大きな役目です。

Q 具体的には何やっているのですか？

A データセットの作成からモデルの学習及び評価、さらにサービスへの反映作業などがメインです。

Q AI エンジニアで大変なことは？

A アウトプットが遠いと感じることです。IT エンジニアなら、仕様書に則ったシステムを開発することがゴールになりますが、人工知能はコードを書いて実際に動かさないと結果が出てこないなので、何回も試行錯誤やチューニングを繰り返さなくてはなりません。

Q AI エンジニアを目指す人にひと言アドバイスを

A 機械学習に関する数学的な知識にプラスして、ハードや web などに関する一般的なエンジニアとしての知識も必要になるので、幅広く勉強することが役に立つと思います。

【AT20】反響続々！ AI エンジニア育成のための通信教育プログラム



通信教育方式で毎週の課題をこなしながら実務で通用する AI エンジニアリングの技能を身につけるこのプログラム、おかげさまでたくさんのお問い合わせをいただいております。

AT20 は、習熟度に合わせて学習スケジュールを決められる 4 つのコースを設けております。

- ・ 入門コース
- ・ Python 基礎コース
- ・ エンジニア初級コース
- ・ エンジニア中級コース

プログラムは随時スタートすることができますので、まずはお問い合わせください。

詳細は [こちら](#)

4. IT 批評

日本の IT サービスがグローバル化できない本当の理由

——「アイデンティティ・マネジメント」入門（1）

<https://it-hiyou.com/>

コラムでご紹介した記事です。ぜひお読みください！

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございます。

コラムでは「アイデンティティ・マネジメント」についてご紹介しました。普段当たり前に使っている ID。その意味と価値について考えるきっかけになりました。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
